

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【南浦和小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	＜学習上の課題＞ 国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」 算数「数と計算」「変化と関係」 ＜指導上の課題＞ 児童が反復・習熟に取り組む時間が少ないため応用問題に対応できなかったためである。	⇒ R7年度は基礎学力パワーアップタイムを15分間とし、計画的に国語、算数を実施する。【毎週金曜日、朝の時間に実施】 「ドリルパーク」「スタディ サプリ」等を活用した、漢字や基本的な計算等の反復・習熟の充実を図る。
思考・判断・表現	＜学習上の課題＞ 国語「話すこと・聞くこと」 算数「図形」「変化と関係」 ＜指導上の課題＞ 自分の考えや思いを伝える場面が不十分であるため。	⇒ 各教科の授業において、児童が発表する場面を多く設定する。協働的な学習の場面における 伝え合い 方等の基本的なスキルの指導を行うことで、思考力や判断力、表現力の向上を図る。【単元ごとに実施】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	結果提供(2月)
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」の平均正答率において、3項目とも全国平均を上回っている。ただ、「情報の扱い方に関する事項」の正答率が低いことから、目的に応じて図表と文章を結び付けて必要な情報を見付けることに苦手意識があると考えられる。 R7全国学力・学習状況調査の児童質問「学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っているか」における肯定的な回答の割合は、92%であった。ICTを活用した振り返りを充実させ、知識の定着と振り返りを次の学習に生かしていく。
思考・判断・表現	国語と算数ともに思考・判断・表現の平均正答率において、全国平均を上回っている。算数の「数と計算」「データの活用」の領域において課題が見られた。グラフから項目間の関係は読み取れるが、適切なグラフを選択し判断し、理由を記述する力や示された言葉を基に説明をする力が不十分であると考えられる。思考の過程や根拠をまとめ、話し合いの機会を増やし書く活動も充実させていきたい。 R7全国学力・学習状況調査の児童質問「自分がどのように考えたのかについて説明をする活動を行っているか」における肯定的な回答の割合は、91%であった。相手に自分の考えを説明していく活動をより充実させていく。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)
③分析共有(児童生徒の実態把握)
夏休み明け

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	B	基礎学力パワーアップタイムを計画的に実施することはできている。漢字や基本的な計算の反復、習熟を図ることができている。ICTを活用し、より一人ひとりに合った課題を設定していく必要がある。	変更なし
思考・判断・表現	B	各授業、児童が発表する場面を多く設定することができている。協働的な学習における伝え合い方の基本的なスキルの指導を継続的に行うことができている。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)